

デジタル社会における学び方と学びの場 オンライン環境で「出来ること」「すべきこと」

開催地：北海道 グループ： 2 班 2022.10.02

オンラインとリアルの溝を埋める

2班での議論～課題～

- ・ 自粛期間中で友達と会ったり、遊んだりできない

- ・ オンラインはミーティングの話が終わったら終了してしまう

話したい人と好きなときに話せる環境が欲しい。オンラインではどうやって話し始めたらいいかわからないし、全員に聞こえてしまう。ディスカッションではよいが、世間話ではデメリット多そう。

- ・ 素性の分からない人とオンラインで交流して実際に会うのは怖い

- ・ 新聞やテレビなどを読んでも、自分ではフェイクかどうか判断が難しい

2班での議論～要望～

- ・ 自粛期間中でも友達と会えたり、遊んだりできる環境が欲しい
- ・ 学生同士で安全に連絡が取り合えるアプリ・サービス・仕組みがあれば、友人や、他校との意見交換もできる。
- ・ 民間で開発したサービスを、学生がそのまま使うのではなく、学校を通じて利用したほうが情報保護に繋がりそう。そのサービスで仲良くなってから、LINE交換したり対面で会ったりする。
- ・ フェイクをAIで判断できる仕組みがほしい

3つの提言

- ・ 状況に応じた細かいガイドラインの策定
- ・ オンラインから対面で会うまでを安全に繋ぐことのできるコミュニケーションサービスの開発促進
- ・ フェイクをAIで判断できるツールの開発